

事 前 評 価 個 表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業計画期間	平成20年度～平成24年度(5年間)																							
事業実施地区名 (都道府県名)	(よねしきがわ) 米代川森林計画区 (秋田県)		事業実施主体	東北森林管理局 米代東部森林管理署																							
事業の概要・目的	<p>本事業は、米代川森林計画区（米代東部森林管理署管内）における更新、保育及び林道の新設・改良等を行う事業である。</p> <p>当計画区は、秋田県北東部の米代川の上流に位置する、100,652haの国有林野を対象とし、適切な森林整備の実施を通じた国土の保全及び水源のかん養等に関する地域の要請が高いとともに、木材加工が発達していることから林産物の計画的、安定的供給に対して要請が強い地域である。</p> <p>本事業は、これらの地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止に積極的に寄与するため植栽等の更新作業、下刈、除間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための林道の新設等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 15%;">274 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>3,871 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>50.7 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>11.2 km</td> </tr> </table>				主な事業内容	森林整備	更新面積	274 ha			保育面積	3,871 ha		路網整備	開設延長	50.7 km			改良延長	11.2 km							
主な事業内容	森林整備	更新面積	274 ha																								
		保育面積	3,871 ha																								
	路網整備	開設延長	50.7 km																								
		改良延長	11.2 km																								
費用対効果分析	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">総費用（C）</td> <td style="width: 85%;">2,401,341 千円</td> </tr> <tr> <td>総便益（B）</td> <td>水源かん養便益</td> <td>4,272,242 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>山地保全便益</td> <td>1,707,059 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>環境保全便益</td> <td>213,554 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>木材生産便益</td> <td>3,282,403 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>1,319,440 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">計</td> <td>10,794,698 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>分析結果（B／C）</td> <td>4.50</td> </tr> </table>				総費用（C）	2,401,341 千円	総便益（B）	水源かん養便益	4,272,242 千円		山地保全便益	1,707,059 千円		環境保全便益	213,554 千円		木材生産便益	3,282,403 千円		森林整備経費縮減等便益	1,319,440 千円		計	10,794,698 千円		分析結果（B／C）	4.50
総費用（C）	2,401,341 千円																										
総便益（B）	水源かん養便益	4,272,242 千円																									
	山地保全便益	1,707,059 千円																									
	環境保全便益	213,554 千円																									
	木材生産便益	3,282,403 千円																									
	森林整備経費縮減等便益	1,319,440 千円																									
	計	10,794,698 千円																									
	分析結果（B／C）	4.50																									
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																										